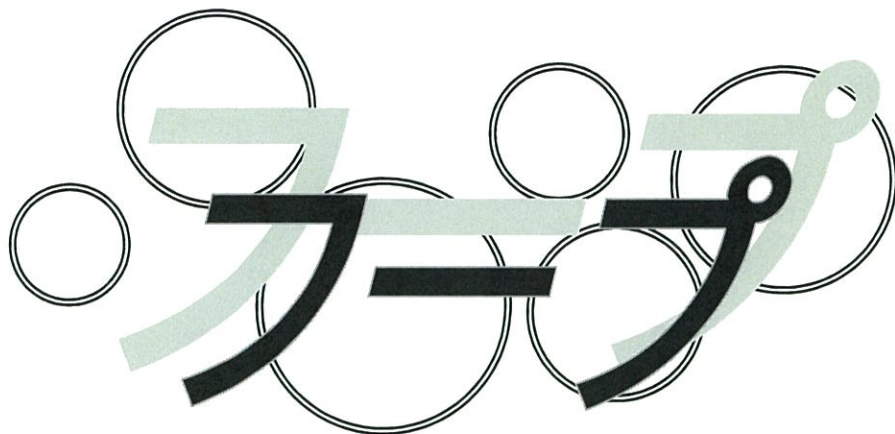
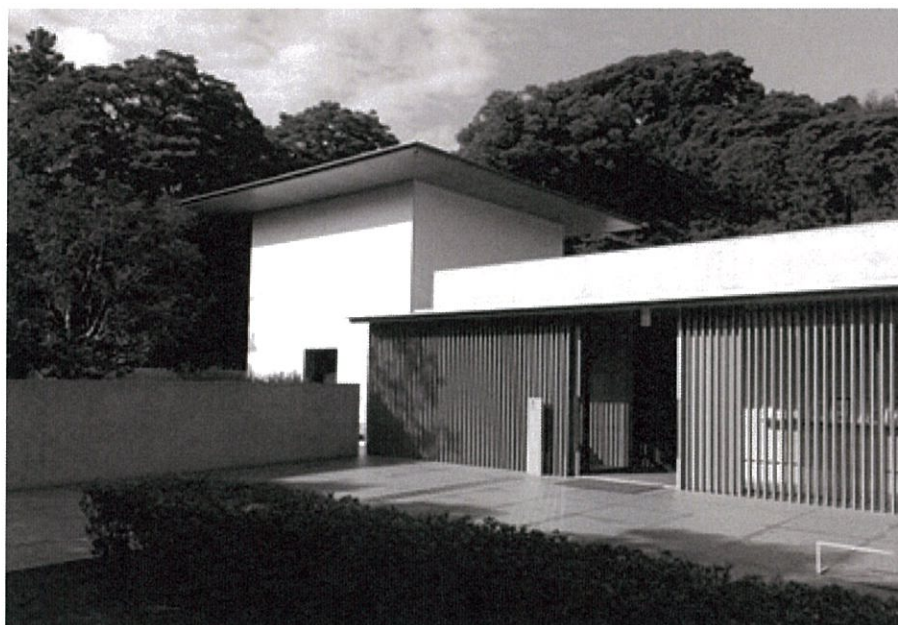




～（女性建築士の輪）～

奈良県建築士会 女性委員会
2014年 夏号
第79号



鈴木大拙館（金沢市）

設計：谷口吉生 竣工：2011年

目次

■ 女性委員会新体制にあたってのご挨拶		1 ページ
■ 石川県の建築拝見の旅に参加して	安井 ひとみ	3 ページ
■ 私と建築	寺岡 春恵	5 ページ
■ 新入会員の紹介	大山 洋子・小笠原 香代	6 ページ
■ 今後の事業予定		7 ページ

女性委員会新体制にあたってのご挨拶

◆委員長に就任して



ほんぼ まきこ
本保 万貴子

今年度から女性委員会委員長をさせていただく本保です。よろしくお願いします。

女性委員会は、委員会を構成する委員だけで活動しているように思われがちですが、女性建築士の拠り所となるべく、委員は、女性会員が何を求めているのかをいつも模索しています。

今まで歴代委員長の下、茶室調査やユニバーサルデザイン研究、季刊誌フープの発行などに取り組んできました。これらの成果はご存じのとおりです。

そしてそれ以外の活動も、この「フープ」で、全女性会員に逐一報告されてきました。ぜひ、今まで以上の関心を持って読んでいただきたいと思います。

更に「和室」をテーマにした新たな事業も動き出そうとしています。和室を知ってみたい、関心がある、という方は、女性委員会研究部会の部会員として参加してみませんか？部会員は委員でなくても参加できますよ。

さて最近、女性委員会の活動に参加される方が固定化してきており、女性委員会と女性会員との距離が広がっているように感じています。女性委員会の活動情報がフープ以外にどのように女性会員に伝わっているのだろうか？女性会員は今何を求め、女性委員会に何を期待して

いるのだろうか？これらを知りたい、知らなければと考えています。

今から 30 年前、女性委員会が生まれる 7 年前の昭和 59 年 (1984) 5 月に全国の女性建築士実態調査が行われました。B4 裏表にアンケート形式で書かれていて、奈良県では 20 名の会員・非会員の方が回答されています。この調査は、建築士会連合会が全国大会の討議資料とするためでした。

そこで、昨年、前委員長が実施したアンケートによる実態調査を再び実施します。概要は、①家族構成について、②仕事について、③仕事と女性の立場について、④建築士会について、を予定しています。このアンケートは、所属されている支部ごとに、できれば直接お目にかかってお話しさせていただければ、と考えています。併せて、今、女性委員会の行事や事業活動は、ほとんどが季刊誌「フープ」と月 1 回発行の「建築士」に同封するチラシでのお知らせとなっています。もう少しリアルタイムにお伝えするため、ホームページの女性委員会の内容を充実させますが、会員の皆様が一番情報を受け取りやすい方法、メールや FAX などの希望する媒体をお伺いする予定です。来月から順番に実施しますので、連絡がありましたら積極的なご協力をお願いします。

1971 年に就職すると同時に建築士会に入会して 37 年を自分なりに一所懸命に駆け抜け、6 年前に職をリタイアしてからは、悠々自適にのんびりと好きなことをして暮らすつもりでしたが、いつの間にか、なぜか、のんびりできない委員長を、更にその上、建築士会連合会女性委員会委員を任せられ、もう一頑張りすることになりました。65 歳にもなると自分で思うほど頭も体も動きません。頼りないこともあるでしょうが、皆さんに助けてもらって大役を果たすつもりですので、どうかよろしくお願いします。

＜女性委員会 新体制表＞

委員長	副委員長	部会	部長	事業内容
本保 万貴子	岩城由里子 (近建女担当)	広報部会		フープ発行、ホームページ工事
		研究部会	岩城由里子	和室研究
		見学部会		見学会・新年会企画
	杉田 数代	ユニバーサルデザイン部会	武市 啓子	講演会、関係団体へのアピール
		調査部会	杉田 数代	珠光茶会、茶室調査 女性会員実態調査

◆副委員長就任のご挨拶



すぎた かずよ
杉田 数代



いわき ゆりこ
岩城 由里子

この度、副委員長としてUD勉強部会と調査部会を担当する事になりました。

UD部会は、武市啓子部会長を中心に活動を進めてまいります。講演会や関係団体へのアピールなどをしてまいります。UD部会から皆様に講演会の速報があります。詳しい内容は本誌7ページに掲載されているので、どうぞご覧ください。

調査部会は、女性会員の皆様に情報発信を素早く行うための連絡網を作成したいと考えております。各支部単位での掌握作業を予定しております。支部代表の方から連絡があると思いますので、宜しくご協力ください。

また、今年の2月に行われた「珠光茶会」に女性委員会として参加しました。来年も「珠光茶会」が開催され、参加することとなりましたら、ご協力お願いすることになるかと思えます。

是非皆様のこんな事が「知りたい」「観たい」「やってみたい」などのご意見をお聞かせ下さい。「気の置けない仲間」、「新しい友人」を増やす機会と考えていただき部会にご参加ください。お待ちしております。

前委員長よりひとこと



総会での花束贈呈の様子

委員長を務めさせていただいた2年間は、私にとって公私共に人生でもっとも忙しいといってよいものでした。至らない点ばかりで、皆様にご迷惑をおかけしましたことをお詫びし、そのような中、最大限のご協力をいただいたこと改めて御礼申し上げます。現在、奈良県建築士会女性会員は90名ならずで、学校で言えば2クラス程度でしょうか。このような少人数なのに、お名前を拝見してもお顔が浮かばない方がいらっしゃることが残念で、これを改善できなかったことが、一番の反省点と感じております。新委員長のもと、出来る限り女性委員会活動に参加していきたいと考えておりますので、今後共よろしくお願い致します。

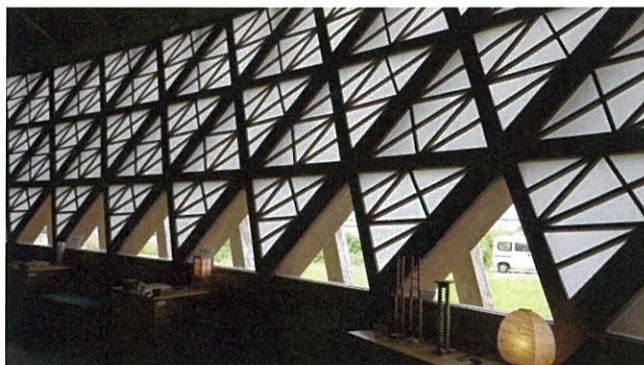
山本 規子

『石川県の建築拝見の旅』に参加して
安井 ひとみ



7月5日（土）・6日（日）天気予報は雨・曇り。しっかりと雨具の用意をして参加した今回の『石川県の建築拝見の旅』でしたが、傘をさすことは奈良に帰るまでほとんど無く、2日目は少し青空ののぞくお天気にめぐまれました。

最初の見学は「内井昭蔵氏」設計の金沢市大野町が運営する「石川県金沢港大野からくり記念館」です。バスの時間の遅れがあり、からくりの説明も聞けないままでの駆け足の見学となりました。千石船が海の波しぶきに洗われるイメージの、海に面した木造の木組みが美しい木の博物館です。



次の見学は近年のさまざまな賞に輝いた「金沢海みらい図書館」です。「堀場弘+工藤和美/シーラカンズ K&H」設計の斬新な金沢市立の公共図書館です。受賞の一つが



「世界の最も美しい公共図書館ベスト25」。利用者の方も心なしか誇らしげに見えたのは気のせいでしょうか？四面の「パンチングウォール」の円形窓から柔らかな光が館全体に満ちて、蔵書もディスプレイの一部のように見えました。ITの時代に実際に本を手にとることの意味が示された空間がそこに有りました。灯りがともされた夜の景色を

見たいと思わずには居られませんでした。



その後はいったんホテルに荷物を預け、金沢らしい景色のなか兼六園の隣にある「成巽閣」を訪れました。前田家が育ててきた美術・工芸・文化を伝えるこの御殿に加賀百万石の栄華の一端を垣間見ることができました。

成巽閣からは本多の森公園の中を徒歩で「鈴木大拙館」に移動です。緑の小道を歩き裏口背面からの訪問でいきなり当館のコンセプト・モチーフである四角いつくばいを目にすることから始まりました。後で学芸員の方からこの黒御影のつくばいには鈴木大拙の表現の一つである○△□（形あるものは空に異ならず）が具現されていると説明を受け納得です。



「谷口吉生氏」設計。「思索のための場所」としての文化施設で、金沢に生まれた仏教哲学者鈴木大拙の思想に出会う場所です。周囲の木々を映し出す「水鏡の庭」その中に立つ「思索空間棟」。日本文化の象徴でもある「床」によって構成された展示空間。

綿密に計画された設計により「仏教哲学者鈴木大拙」の思いが建物に具現化され、訪れた者をその世界に引きこ

んでいく様です。また、学芸員の方の的確なご説明により非常に印象に残るものとなりました。



一日目の見学は終わり、これまた徒歩にてホテルに戻り、そのあと加賀料理に舌鼓を打ちました。

二日目はなんと青空が垣間見えるお天気でホテルを出発し、昨日の鈴木大拙館とゆかりの「西田幾太郎記念哲学館」の見学からスタートです。

「安藤忠雄氏」設計で構想・立地選びから参画されたとのこと。哲学の杜と名付けられた眼下に街を眺望できる丘陵地に建築された「哲学」という名称の世界的にもめずらしいミュージアムです。

ホワイエ・・・傾いた曲線のコンクリートが大きなガラスの天窗へと広がりながら向かっていく円形の空間がまず目に飛び込んできます。瞑想の空間です。

ライブラリーも曲面のコンクリート壁にディスプレイ的に本が展示してあり印象的でした。



次の見学地は今年3月に開館した「サイエンスヒルズこまつ」。設計は「元倉眞琴/スタジオ建築計画+伊藤麻里/UA0」。建機メーカーのコマツの工場跡地の一部に建つ「サイエンス」をテーマに科学技術を体験できる市民の集う公共施設です。

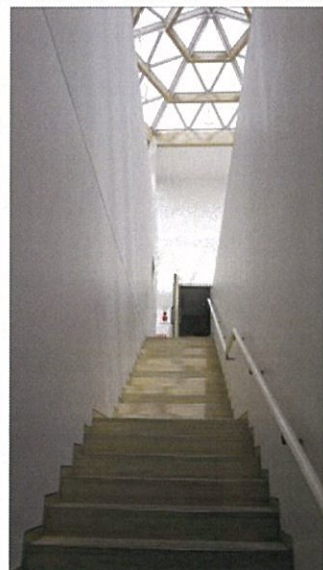
緩やかに波型が重なりあう外壁。「公園のような空間

というコンセプトが一貫して貫かれ、ただのハコものではなく、公共建築として市民から愛される建築という設計者の熱い思いが実現されているとのこと。中に入ると、くったくなくタッチパネルを操作して目を輝かせている子供たちの熱気に溢れていました。このように身近に科学に触れ合える環境が有ることを羨ましく思いました。



物作りが継承されて、人材育成のための大きな器としてこの建物は愛されていくのでしょうか。

次は「加賀片山津温泉 街湯」。「谷口吉生氏」設計で温泉宿のイメージからは程遠いコンクリートとガラスの建築物です。市民交流の場としての街湯です。日替わりで男湯と女湯が入れ替わり、当日は女湯が「森の湯」で男湯が「湧の湯」でした。(ちゃんと入湯してきました。)



最後の見学は「磯崎新アトリエ」設計の「中谷宇吉郎雪の科学館」。入館してすぐに雪の結晶をイメージした六角形の天窗を見ることができます。普段意識しない科学を身近にしてくれる自然をいかした建物でした。

今回の見学ツアーに参加して知的財産を継承し未来につないでいこうとする石川県の姿勢を感じることができました。文化の受け皿になり発展継承させていく具体的な形が“建築”なんだと思わせてくれた2日間でした。



私は、幼少のころ大分県の臼杵市で育ちました。臼杵市は大分県の東に位置し瀬戸内海に面した場所にあり、とても穏やかなところだった記憶があります。毎日のように外で兄弟や友達と遊び、近所の空家の庭に勝手に入って秘密基地をつくったりして過ごしました。

その頃住んでいた家は、父の会社の社宅で、記憶の中では和室6帖が3室。南側には障子で仕切られた広縁があり、冬はとっても暖かかったのを覚えています。お風呂は五右衛門風呂で、板の上に乗って湯船に浸かっていました。そして、便所は汲み取り便所で、便所の板戸の外には鉄板でつくられた洗面台。庭には、簡単な砂場、そして桃の木がありました。玄関脇には赤いバラの木があり、トゲをとって鼻にのせ、天狗と言って兄弟で遊んだものです。

その家の夢を、何故か今でもよく見るのです。

数年前に大分に訪れた時、その場所を尋ねてみました。あまり風景は変わってなかったので迷わず行けましたが、その家はすでになく、真新しい今風の家が建っていました。

私は、子供の頃から建築をやりたいと特に思ったことはなかった様に思います。ただ、叔父が関東で設計事務所を営んでおり、子供の頃我が家の設計を提案してくれたことを覚えています。その時は「こんな家に住みたいなあ〜」と、子供ながらに思った記憶があります。そして、「叔父さんはすごいなあ〜」と思いました。まさか、自分が設計の仕事をするとは・・・。

叔父の設計した家は結局建つことはなく、プレファブ住宅メーカーの家が建ちました。箱を組み合わ

せたような家で、子供のころは「屋根（勾配屋根）がない」ことがとても嫌でした。その家の夢は、なぜかほとんど見ていません。

子供の頃を過ごした住まいは、いつまでも自分の記憶のどこかに寄り添っていて、その頃の何かを、今の住まいの中に追い求めているような気がします。

きっと皆にある感情だと思うのですが…。

建築の仕事始めて、実は20数年。達成感というものを感じたことは、まだ一度もありません。月日は流れていくのですが、まだまだ暗闇にいる様で、いつもつまづいています。

しかしながら、建築という仕事を続けていけるのは、知らぬ間にその楽しさに嵌ってしまっているからなのでしょうか？建物を見るのは大好きで、日本の古い家屋などには特にワクワクしてきます。

また、以前イタリアに行ったとき、スカルパの建物をいくつか見学しましたが、そのディテールの細やかさとダイナミックさに圧倒されました。

最近、身内が病気になる気弱になっています。その身内の住まいは、築30年以上のマンションです。新築の家をとはいえませんがリフォームを考えており、その話をするとてもうれしそうに話にのってきます。

その人の住まいを、少しでもその思いや記憶に寄り添えるものにすることが出来るのであれば、そして住まう人を元気な気持ちにできるのであれば、この仕事は、とっても素敵なお仕事だと思うのです。

子供の頃の臼杵の家。今思うと、あの家とロケーション、あの場所が、私の建築を思う原点になっているような気がします。あの頃の思いを大切に思えるのも、建築を続けているおかげです。この思いを活かせればと思います。

新入会員の紹介



大山 洋子

今年「スムトコデザイン一級建築士事務所」として出発すると同時に、建築士会にも入会させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

私は静岡県富士山が見える町で生まれ育ちました。インテリアのお仕事とか楽しそうだな・・・という単純な発想で奈良女子大学住居学科へ入学した時から建築との付き合いがはじまり、学生時代は、奈良や京都の寺社建築や、国内外あちこちの建築を見学しました。

大学卒業後は大阪のランドスケープコンサルタントや建築設計事務所に勤務しました。調査をし、打ち合わせをし、図面を描き、現場へ足を運び・・・とにかく「働くこと」「設計すること」を学び、自然と人間との関係や、何十年も使われ続ける空間とはどういうものが良いのだろうかを考えた日々でした。

住むところも奈良・兵庫・大阪と集合住宅を転々とし、結婚し子供が生まれ、生活スタイルも大きく変化しました。2010年に生駒市に国産材を使った木の家を新築し、第二の故郷である奈良に戻ってきました。

静かで自然豊かなこの場所で、二人の子供を育てながら、家について、暮らしについて、未来について、考える日々です。

建築士としても母としてもまだまだ未熟な私ではありますが、子供たちと一緒に一歩ずつ成長していきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。



小笠原 香代

今年度より入会させていただきました小笠原と申します。今年で設計事務所を開設して4年目になります。目の前の仕事だけでなく、地域での活動にも参加していきたいと思っていたところに、御縁があり入会いたしました。

私が建築に興味を持ちだしたきっかけは、子供の頃にTVでたまたま見かけた番組の影響でした。イサム・ノグチの特集で「地球を彫刻する」という言葉に衝撃をうけたことだけははっきりと覚えています。建築についてはまったく知識のない子供ながらも、わくわくしたのを覚えています。また住宅設計にも興味があり、大学では建築を専攻しました。ランドスケープ・遺跡・集落・町並み等も、勉強と称してはよく旅行もしました。そして、大学院生の時、民家を再生した住宅との出会いが大きな転機になったと思います。古い建物の潜在的な可能性を見つけ出し、時間を様々なかたちでデザインするという仕事に心惹かれ、新築と再生の両方手掛けている設計事務所に就職しました。

建築に関してだけ振り返っても、私の人生には約3年ごとにターニングポイントとなる出会いがありました。様々な方から大きな影響を受けながら、縁にめぐまれたからこそ現在までやってこられたのだと思います。建築士会の活動に参加していく中で、様々な出会いを通して多くのことを吸収し、成長していきたいと思っています。

これからもよろしくお願いいたします。

今後の事業予定

ユニバーサルデザイン講演会のお知らせ

ユニバーサルデザイン勉強会より

今年も11月にユニバーサルデザイン講演会を開催します。今回の講師は、趙 玫姫（チョウ ミンジョン）さんという韓国の女性の方です。

日時：11月6日（木）PM6：30～8：30

場所：建築士会館1階会議室

内容：ユニバーサルデザインと韓国の福祉や女性の現状について

今回の講演では、ユニバーサルデザインについてのお話と、韓国の福祉や韓国の女性の立場・仕事、日本との違いなどについて、興味あるお話が聞けると思います。講師の趙（チョウ）さんは、どんな質問にもはっきりと理論的に話してくださる姿勢に好感が持てる方です。

皆様、ふるって御参加ください。

～講師紹介～

大阪市立大学生生活科学研究科にて、「建築系・住居系分野における仕事と生活からみた男女共同参画に関する研究」で博士号をとられており、わたし達の身近な分野の研究をされています。世界的に見て余り例が無い、建築系学科に加えて住居系学科があるわが国に、生活からのアプローチを重視した建築住居教育は、女子学生を中心に多くの生活視点を持つ専門家を育成してきたことを検証できた。とあります。もちろんユニバーサルデザインについても、兵庫福祉の町づくりなどの活動をされていました。

現在は、大阪府立大学工業高等専門学校総合工学システム学科都市環境コースにて講師をされています。

編集後記**

今号より、庄田さんから引き継いで編集委員に仲間入りをさせて頂きました中辻です。7～8年前にも一年だけ携わらせていただきましたが、当時は子供達がまだ小さく、編集作業に慣れる前に任期が終わってしまったという感じでした。土会活動に積極的に参加するのはまだ難しいものの、時間的にはずいぶんゆとりができたので、以前とはまた違った視点で編集作業に関われたら・・・と思っています。不慣れな点も多いかと思いますが、よろしく願います。

（中辻 千重）

- 8月 9日（土）～10日（日）
青年委員会 建築模型講習会【初級編2】
- 8月26日（火）
二級建築士「学科」試験合格発表（予定）
- 8月27日（水）
第2期一級・二級・木造建築士定期講習
（春日野荘）
- 8月30日（土） 8：00～17：00
近畿建築士会協議会女性部会（近建女）交流事業
「2014びわこペーロン大会」参加 会場；大津市
- 9月上旬 大和さくら万葉まつり
- 10月24日（金）～26日（日）
第57回建築士会全国大会ふくしま大会
（福島県産業交流館「ビッグパレットふくしま」）
- 11月1日（土） 10：00～12：00
近畿建築士会協議会女性部会（近建女）交流事業
「木のマンションリノベーション」講演と意見交換会
会場；大阪「TOTO テクニカルセンター」
- 11月19日（水）
第3期一級・二級・木造建築士定期講習
（奈良県産業会館）
- 12月14日（日） 青年委員会 お菓子の家作り
- 平成27年
- 1月14日（水） 新年名刺交換会（予定）
- 1月16日（金）
奈良県被災建築物応急危険度判定士養成講習会
- 1月24日（土）
青年委員会建築士試験合格者祝賀会（予定）
- 1月31日（土） 10：00～17：00
近畿建築祭 会場；神戸市産業振興センター
- 2月25日（水）
第4期一級・二級・木造建築士定期講習
（春日野荘）
- 2月28日（土）～3月1日（日）
青年委員会 奈良の森と木と家のフェスタ出展
（橿原イオンモールアルル）
- 2月27日（木）～28日
全国女性委員長会議及び第24回全国女性建築
士連絡協議会 会場；東京 建築会館ホール
- 3月未定 女性委員会日帰り見学会